

事 務 連 絡

平成 2 8 年 8 月 8 日

各道府県後期高齢者医療広域連合

担当課長 様

東京都後期高齢者医療広域連合

総務部企画調整課長 高野 祐子

不審者等に関する情報提供について

日頃より、当広域連合の運営にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
下記のとおり、不審者等に関する情報提供がありましたので、お知らせいたします。
なお、貴広域連合にて類似の事例が発生した場合には、情報提供をお願いいたします。

記

1 受付日時 平成 2 8 年 8 月 4 日 (木) (昭島市 保健福祉部 保険年金課)

2 情報提供者 被保険者本人 (男性)

3 内容

8月2日(火)に市役所保険年金課の職員を名乗る電話があり(名前を言っていたが忘れたとのこと)、「高額療養費の申請書を送ったが、通知を見ていない人が多く、手続きをしていないため電話をしている」と話をされ、言われるまま銀行(みずほ銀行の立川支店だと思ふとのこと)に行きATM操作で199万9,121円を振り込んでしまった(振込先 三井住友銀行 中野支店)。その後怪しいと思い、みずほ銀行に電話をし、お金が渡る前に差し止めてもらうことができた。

その際、振り込んでしまったお金については、8月3日(水)に元の口座に振り込み直されるという話であった。警察にも行き、電話につける詐欺防止の自動通話録音機をもらった。

8月3日(水)みずほ銀行の本社の者だと名乗る電話があり、昨日の199万9,121円を返すのに手続きが必要だと言われ、インターネットバンキングで言われるまま操作し、100万円を支払ってしまった(振込先 琉球銀行 内間支店 に50万円、ゆうちょ銀行 ○三八支店に50万円の合計100万円)。インターネットバンキングに限度額があるため、このままみずほ銀行のATMに行くように再度指示をされたことで怪しいと思い、本社の誰なのか名前を聞いて電話を切った。みずほ銀行の本社に電話をして聞いても該当の人物が存在しなかったため、また詐欺であったことに気づいた。琉球銀行とゆうちょ銀行に連絡をしたが、既に処理されてしまっていた。(前日に警察にももらった自動通話録音機はまだ取り付けていなかった。)再度警察に相談。その後警察官3名に自宅に来てもらい、録音機を取り付けて

もらった。

8月4日(木)午前11時30分頃、市役所で高額療養費の申請書を送っているのかという本人からの電話があったため、上記の内容を聴取。高額療養費の手続きは平成26年1月に済んでいるため、申請書を送ることはないと伝えた。最初に名乗ったのが市役所の職員だったため、注意を呼び掛けてほしいとのこと。

なお、最初に振り込んだ199万9,121円については本人の手元に戻されている。また、相手方の電話番号は不明。

東京都後期高齢者医療広域連合

企画調整課 林

TEL 03-3222-4499

FAX 03-3222-4477